



町民と共働するまちづくり

羽幌町長 舟橋 泰博

新年 あけましておめでとございます。

平成十五年の輝かしい希望に満ちた新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

昨年十一月の町長選挙に際し、皆様の暖かいご支援のもと、無投票当選の栄に浴し、引き続き町政の任にあたることとなりましたが、その責任の重さを痛感し、決意を新たにしているところであります。

昨年を振り返ってみますと、厳しい社会情勢にありましたが、自然環境、生活環境に配慮した資源循環型ごみ処理施設の完工を始め、上水道、貯水タンクの完成により、汚濁の解消や一部地域において水圧低下の解消など、水道水の

安定供給の拡充を図ったところであります。

また、継続事業であった、公共下水道終末処理場「羽幌浄化センター」の完成と市街地区の一部供用開始、さらには公営住宅の老朽化に伴う新朝日団地の建設も順調に進捗し、生活環境の整備が図られるなど、これら懸案の事業が着々と推進された年でありました。

昨年、平成二十三年度を目標として、羽幌町総合振興計画「ほつとプラン21」を町民の皆様に参加とご協力により策定いたしました。この計画は「心と心をつなぐハートコミュニケーション」を基本理念とし、羽幌町の現状と課題を踏まえ、まちづくりの方向を描いたものではありますが、本年も「町民の皆様が主体となったまちづくり」をめざして、計画の実現に向け全

力で取り組んでいく考えであります。

課題が山積する中であって、直面して取り組みが必要とされる市町村合併と北海道支庁再編問題、そして大きな課題は「株式会社ハートタウンはぼろ」が取り組んでおります「中心市街地活性化事業」の推進並びに沈滞していると言われる「農林水産業の基盤強化」などまちの活性化、経済基盤強化のための思い切った施策の展開が必要と考えておりますが、初心を忘れず、議会の協力を得ながら、町民の皆様と目線を同じくし、より一層町政発展のため努力を重ねてまいります所存であります。

就任二期目の新春を迎え、所信の一端を申し上げますとともに、町民皆様の益々のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げ、ごあいさつをいたします。



『合併か否か』の決断のとき

羽幌町議会議長 熊谷 小敏

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を皆様と迎えることができましたことを心からお慶び申し上げます。町民の皆様には、日頃から町政に対するご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

顧みますと昨年は、日本経済は依然として低迷から脱しきれず、雇用環境も悪化の一途をたどっている現状にあります。一方、世界情勢を見ますと、イラクの大量破壊兵器問題、アフガニスタンのウサマ・ビンラディン率いるアルカイダの国際テロ問題、北朝鮮の拉致問題と依然として政情不安が続き、平和的な解決策の見通しが立たない現状は残念なことであります。

このような情勢下にあつて、本町では昨年六月に待望の新パークゴルフ場がオープンし、町民の健康増進と体力の向上とともに町民の憩いの場になっていることは大変喜ばしいことでもあります。

また、十月には公共下水道が一部供用開始となり衛生的で快適な生活環境が一段と向上したところであります。更には、衛生施設組合のゴミ処理施設が完成し、ゴミの有料化がスタート

しゴミ袋の有料化やゴミの分別に戸惑いもあるうかと思いますが、町民一丸となってゴミの減量化をお願いするところであります。

一方、産業をみますと、農業は夏季の長雨から日照不足や低温障害により、各作物とも品質が低下し、収量も激減し、大幅に平年作を下回るなど、農業経営者にとって厳しい年でありました。

水産業は、コウナゴ漁は不漁であったものの、他の魚種は比較的安定した漁獲高を確保し、特に、春漁のヤリイカ、秋漁のメジマグロの豊漁は明るい話題でありました。

商工業界は長引く不況の影響を受け、購買力の回復を取り戻せずに終えた一年であったと思えますが、こうした現状を打開するための中心市街地の活性化に向けた実施計画が策定され、この事業主体である(株)ハートタウンは「ぼろ」が発足し、市街地の整備改善、商業等の活性化に向け鋭意努力されていることに期待を寄せるところであります。

こうした情勢を踏まえ、私も議会も地域経済の動向を注視しながら、町民の生活安定と福

祉の向上を図る責任の重大さを一層感じ精進いたす覚悟でございます。

特に、過疎化とともにすすむ少子高齢化への対応など、町民生活の向上と福祉対策のために努力いたしたいと存じます。

さて、今年は、地方自治体にとって重大な市町村合併の問題が大きな課題として「合併か否か」の決断のときを迎えようとしています。しかし、合併問題は、住民の合意なしではできません、住民の意向を十分に尊重した中で、行政と議会が連携を取りながら慎重に協議を重ね意思統一を図って参ります。

このように、刻々と変化する新時代に対応しつつ、厳しい財政事情に考慮しながら地域の活性化が図られるよう創意工夫を重ね理想郷が築かれるため一層努力し、住民の信頼に応えるべく努力いたす所存でありますので町民の皆様方の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、益々のご健勝と幸多き年でありますことを心からお祈りいたしまして、新年のごあいさついたします。